

平成22年度〔第2四半期〕随意契約の結果（500万円以上の物品、委託、工事）

農政水産部

（注）1、2の説明

表頭欄の「根拠法令」(1)は、随意契約ができる場合について規定している地方自治法施行令第167条の2第1項の1号から9号のうち該当する号を記入し、2号の場合(性質又は目的が競争入札に適しないもの)については、「適用類型」(2)に厳格な運用を図るために県が作成した7類型のうち該当するものを記入しています。

契約担当組織の名称	事業名	契約内容	契約締結日	契約の相手方	契約金額(円)	随意契約とした具体的理由	根拠法令 1	適用類型 2
農業経営課	県産農産物店頭プロモーション事業委託	量販店の店頭等で、県産農産物を消費者にPR	平成22年7月6日	生活協同組合コープしが	8,069,000	県産農産物の良さをPRし、消費拡大へ結びつけるためには民間事業者のノウハウを生かすことが効果的なため、公募型プロポーザルで委託事業者を選定したため。	2号	4
農業経営課	県産農産物店頭プロモーション事業委託	量販店の店頭等で、県産農産物を消費者にPR	平成22年7月6日	琵琶湖汽船株式会社	5,894,700	県産農産物の良さをPRし、消費拡大へ結びつけるためには民間事業者のノウハウを生かすことが効果的なため、公募型プロポーザルで委託事業者を選定したため。	2号	4
農業経営課	県産農産物店頭プロモーション事業委託	量販店の店頭等で、県産農産物を消費者にPR	平成22年7月6日	株式会社平和堂	5,369,700	県産農産物の良さをPRし、消費拡大へ結びつけるためには民間事業者のノウハウを生かすことが効果的なため、公募型プロポーザルで委託事業者を選定したため。	2号	4
農業経営課	県産農産物店頭プロモーション事業委託	量販店の店頭等で、県産農産物を消費者にPR	平成22年7月6日	株式会社パールライス滋賀	5,286,540	県産農産物の良さをPRし、消費拡大へ結びつけるためには民間事業者のノウハウを生かすことが効果的なため、公募型プロポーザルで委託事業者を選定したため。	2号	4
水産課	漁業調査船新「琵琶湖丸」設計業務委託	船舶設計	平成22年4月12日	株式会社空兵衛造船所	10,804,500	特殊性がある琵琶湖の船舶設計において琵琶湖で使用する船舶の設計経験を有する者により設計を行うことが不可欠であり、他に代替し得る者がいないため。	2号	3イ
水産課	漁業調査船新「琵琶湖丸」建造・購入	アルミ軽合金製漁業調査船建造 19トン	平成22年8月3日	株式会社空兵衛造船所	204,330,000	全幅4.6mの新造船は陸送が不可能であり、琵琶湖または琵琶湖に接続する水面に面したドック等の造船施設を有し、本船を建造する技能、経験を有する者は他にいないため。	2号	3イ
愛知川流域田園整備事務所	野村地区 換地処分等事務委託(確定測量)	換地処分事務	平成22年7月6日	東近江市	7,280,000	換地の技術的な能力を有し、かつ、地元の実情に精通している当市でなければ換地業務を適正に行うことができないため。	2号	3イ
愛知川流域田園整備事務所	三津屋地区 換地処分等事務委託	換地処分事務	平成22年9月28日	三津屋土地改良区	5,330,000	換地の技術的な能力を有し、かつ、地元の実情に精通している当土地改良区でなければ換地業務を適正に行うことができないため。	2号	3イ